

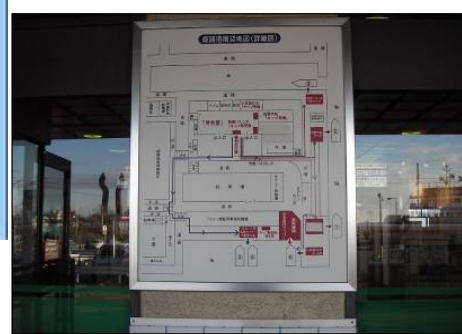
姫路港飾磨地区(兵庫県姫路市) みなと振興計画概要図 「ユニバーサルデザイン化によるみなと振興」

計画の概要
 姫路港～家島諸島の定期旅客船航路は、家島諸島と内地を結ぶ唯一の交通機関として年間約64万人が利用する重要な生活基盤となっている。近年、急速に進む少子高齢化への対応として、JR姫路駅、姫路港及び家島港周辺エリアにおいて、公共交通機関のユニバーサルデザイン化が強く求められている。そのため、JR姫路駅、姫路港及び家島港が連携して、旅客船ターミナル、係留施設等のユニバーサルデザイン化を推進し、安全で安心なみなとづくりを通じてみなとの振興を図る。

目標	・離島海上交通の完全バリアフリー化。これにより、島民が安全・安心に内地(姫路港)と交流することが可能となり、交流機会が増大する。また、市民等の利用満足度・安心度が向上することにより、家島への観光客の増加が見込まれ、港湾の利用頻度の増加、地域の振興が期待できる。	代表的な指標	港湾来訪者数(人/年)	910,000 (H17年度) → 950,000 (H23年度)
			障害者のバリアフリー化の認知度、満足度 %	0 (H17年度) → 100 (H23年度)



現 状



整備イメージ

